

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援センター ホープ		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		～ 2025年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12世帯	(回答者数) 11世帯
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日		～ 2025年 11月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・安心感をもって通所していただいている。	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して療育を受ける事ができる環境の設定。 ・ニーズに応じた療育の提供。 ・スタッフとの信頼関係。 ・療育後の保護者の方との振り返りの時間での情報交換や成長の共有。 	<p>今後もお子様に楽しく安心して通所していただけるよう努めます。また、保護者様と連携しながらお子様の成長発達に応じた療育を提供していきます。</p> <p>また、スタッフのスキルアップに努め、寄り添う支援を大切にします。</p>
2	・生活空間は清潔で心地よく過ごせ、こどもたちの活動に合わせた空間となっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な清掃と消毒。 ・療育内容や状況に合わせた環境の設定。 ・ニーズに合わせた空間の使い方。 	<p>お子様や保護者の方が安心して心地よく過ごせるよう、安全で清潔な環境設定に努めます。</p> <p>また、療育の内容や人数に合わせ、使用する室内を変えたりと配慮しながら療育を行います。</p>
3	・面談や子育てに関する助言等の支援が行えている。	<ul style="list-style-type: none"> ・療育後のフィードバックの充実。 ・保護者の方とのこまやかな情報の共有。 ・状況や必要に応じて個別に時間を設ける事が出来ることの周知。 	<p>子育てに関するご不安や相談したい事があられる時には個別にお時間を作る事もできます。お気軽にスタッフまでご相談ください。</p>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・父母の会の活動や保護者会等の開催（おしゃべり交流会）などの周知が十分ではない。	・ホープおしゃべり交流会の開催が、父母の会の活動や保護者会の開催の目的にも含まれている事の周知が十分にできていなかった。	・今年度は療育体験会と保護者とスタッフとの交流会を計画し、ホープおしゃべり交流会として実施いたしました。来年度も開催に向けて準備を進めております。開催の際は、会の概要や内容などもわかりやすくお伝えできるようにします。
2	・事業所の行事等について。（地域住民の方との交流ができる行事の開催ができていない。）	・開催にあたっては、法人内の他事業所との兼ね合いもあるため、法人全体での協議が必要になり開催できていない状況。	法人全体では、外部を招待しての行事の開催について要望もあがっているため、法人として協議を重ねてまいります。 開催が決まりました際は、ホープのご利用者様にもお知らせいたします。
3			